

青谷地域における井戸水の水質検査結果報告について

1. 目的

山砂利採取地の事業所井戸から砒素、水銀が、奈島の事業所井戸から水銀が環境基準をこえて検出されました。山砂利採取地については、原因究明に向けての取り組みが進められていますが、市独自の緊急対応として、青谷地域の井戸水について環境基準に基づく水質検査（砒素、総水銀）を行い、青谷地域住民の不安解消を図ることを目的として実施しました。

2. 実施期間等

申し込み：平成 19 年（2007 年）4 月 20 日（金）～平成 19 年（2007 年）5 月 21 日（月）

採水：平成 19 年（2007 年）4 月 26 日（木）～平成 19 年（2007 年）5 月 21 日（月）

3. 申込み数及び用途

単位：件

地域\用途	工業用	商業用	農業用	家庭用	その他	合計
市辺	2	3	4	24	2	35
中	3	1	3	18	3	28
奈島	6	1	17	53	0	77
合計	11	5	24	95	5	140

4. 検査結果

申込み件数		140件
検査結果	砒素、総水銀検出されず（環境基準値未満かつ定量下限値未満）	139件
	0.0044 mg/l の総水銀が検出された（環境基準値 0.0005 mg/l）	1件

5. 専門家の意見

①水質検査結果について

総水銀について 140 ヶ所検査して 139 ヶ所からは検出されず、砒素については 140 ヶ所で全く検出されなかったことから、青谷地域において総水銀・砒素汚染の広がりはないと言える。

140 ヶ所のうち 1 ヶ所だけで総水銀が検出されたが、その周辺の井戸からは検出されておらず、局地的なものである可能性が高い。

②山砂利採取地内の事業所井戸、奈島の工場井戸、中芦原の事業所井戸の関連性について

山砂利採取地内の事業所井戸、奈島の工場井戸、中芦原の事業所井戸から環境基準値を超えた総水銀が検出され、原因は明らかにはなっていないが、次の理由から同一性のものとは考えにくく、局地的で、それぞれ個別の要因による可能性が高い。

ア 総水銀は、一般的に水に溶けて移動することはない。

イ 総水銀の測定値が、山砂利採取地内の事業所井戸（0.0008mg/l）、奈島の工場井戸（0.0022mg/l）、中芦原の事業所井戸（0.0044mg/l）と数値が大きく異なること。

③健康への影響等について

環境基準を超えた総水銀が検出された場合、飲用中止すべきことは言うまでもないが、総水銀の環境基準値は、長期間にわたり飲み続けた場合に、一部の人に健康被害が生じる可能性がある数値である。

しかしながら、総水銀が検出された事業所について、監視の継続や原因調査を検討していくことも必要と考える。